

自然を
楽しむ

95

「青く見えるわけ」
北村 豊

(小布施町栗ヶ丘)



静脈部拡大図

視覚における錯覚の事を「錯視」と呼びます。最も身近な自然の錯視は、誰もが直ぐに見られる皮膚近くを走行する皮静脈ではないでしょうか？

写真は、採血によく利用される肘内側の太い皮静脈ですが、青く見えますよね！でも、“青く見える”のと“青い”は同義語ではありません。

青く見える静脈、しかし最近、立命館大学の北岡教授の研究で実際は灰色であり、皮膚の肌色の暖色が影響し、錯視で青く見えると解明されました。